

NPO法人ふくてっく 第22回総会議事録

出席報告 中北事務局長は、現在正会員数 31名 出席 25名（委任状出席 名含む）であるので総会が成立していることを報告。

総会議長に、小川会員を推挙したいが、と諮ったところ、出席会員の全員が賛同した。小川会員は議長席につき、13時35分に総会の開会を宣言した。

議長は続けて、議事の書記を中北事務局長に命じるとともに議事録署名人として、後藤秀樹会員と清水麗子会員を示したうえで審議に入った。

I号議案 令和三年度活動報告

理事長総括

（小川理事長）

総括としてコロナ禍の影響を報告するのも3度目となりました。まだまだ以前の様に交流が出来る状態には戻っていませんが、長引く感染対策に対しての効力や必要性について見直され始めています。そんな動きの中、社会経済との両立などから、これまでの2年に比べコロナに対するフェーズが変わってきていることを肌で感じるようになってきました。

そこで、ふくてっくもいつまでもコロナ禍の影響を嘆いてはいられません。これまでの部活動等を見直す「Phase（フェーズ）」にあるのかもしれないと思っています。

既に以前の「東大阪部会」は、「りのべる」と部会名を変えて新たな道へも進もうとしています。「つどい」は、新たなものづくりの形を模索せざるを得ない環境に置かれ、これからが正念場となります。

「こおねっと」は、第三者評価活動の勢いに押され、他に計画していた活動に着手出来ていません。本来目指すべき目標のコミュニティネットワークへの期待は膨らむところです。

どの活動も、ふくてっくの3本柱としてこれからもドンドン変化していく時です。出来ない事を「仕方がない」ではなく、「どうすれば出来るか」にチャレンジしていく機会いきたいと思います。

交流の機会を増やす、ネットワークを広げる、つなげる試みを進めていく

事務局報告

（中北事務局長）

◆定例会記録

開催日	学習会テーマ	学習会講師	その他
H33.7.3	苔おじさんから学ぶ 地球温暖化防止	苔おじさん 泉原和弥氏	・大阪NPOセンター退会
H33.8.7	第20回定期総会開催		・8/7午前中に理事会開催 ・8/25～28臨時理事会 eメールにて
H33.9.4	ひとりも取り残さないために ～インクルーシブ防災～ 「避難所編」DVD鑑賞	NHK厚生文化事業団制作	・9/4臨時総会開催
H33.10.2	ひとりも取り残さないために ～インクルーシブ防災～ 「避難生活編」DVD鑑賞	NHK厚生文化事業団制作	
H33.11.6	家族の再生～ある児童養護施設の 試み～ DVD鑑賞	舞鶴学園の活動紹介 2008/11/4放送 芸術祭参加作品	・11/30羽曳野市立幼稚園にて 木工あそびを開催
H33.12.4	日本財団補助プロジェクト 応募作品のプレゼン	中北清会員	
H34.1.8	抱負を語る会（学習会はなし）		
H34.2.5	木を暮らしに取り入れる ～カバナで作るオーナメント～	山本尚子会員 寺岡春恵会員	・2/5午前中に理事会開催
H34.3.5	正しい姿勢で元気な体づくり	西村久代氏 有限会社ゆとりすと代表	・（社）かみかみごはんのクラウドファン ディングに33000円の支援を実施
H34.4.2	噛むって楽しい	松岡照代 代表 （社）かみかみごはん	・「東大阪部会」→「りのべる」改名 ・事業復活支援金100万円受取
H34.5.7	公開マッピング	松岡照代 代表 （社）かみかみごはん	
H34.6.4	楽々スイスイ！ パンザイ体操と誕生秘話	城之尾薫氏 代表理事 （社）ガオカオジャパン	

長引くコロナ禍の中、自粛していた外部講師の招聘も、年度後半には回復してきました。第7波が到来してきましたが、感染予防を徹底しながら、充実した定例会を開催していきましょう。

◆総会記録

開催日時	場所	議事
第20回 定期総会 R3.8.7 13:30～14:50	大阪市立社会福祉 センター 3階会議室 正会員総数31名 出席24名 (うち委任状出席8名)	・ R2年度活動報告・同決算 承認 ・ R3年度活動計画・同予算 承認 ・ 監査報告
臨時総会 R3.9.4 13:34～13:45	大阪市立社会福祉 センター 3階会議室 正会員総数32名 出席26名 (うち委任状出席5名)	・ 役員任期満了に伴う改選について 承認

◆理事会記録

開催内容・日時	場所	議事
理事会 R3.8.7 10:30～12:00	大阪市立社会福祉 センター 3階会議室	・ R2年度活動、決算報告 ・ R3年度活動、予算計画 ・ 総会、定例会の開催有無のルール化について ・ R3年度からの年会費について
臨時理事会 R3.8.25～28	自宅等、eメールにて	・ 役員任期満了に伴う改選について
理事会 R4.2.5 10:30～12:00	大阪市立社会福祉 センター 3階会議室	・ R3年度上半期の活動報告、下半期の活動展望 ・ 新型コロナウイルス感染症への対策について ・ (社) かみかみごはんからの依頼案件について

議長は1号議案について、意見を求めたところ、一同異議なくこれを承認した。

1. ふくてっくのつどい (小川会員)

ものづくり活動			令和三年度事業報告（R3/7/1～R4/6/30）	
A：事業活動（有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動）				
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等	
	相手先・依頼主			
	場所		成果	
I	幼稚園木工教室	11/30	子ども達に木に触れ合う機会を作り、工作を通じて工具体験を目的の活動。	
	羽曳野市立高鷲南幼稚園		コロナ禍で昨年は幼稚園の先生が工作を実施したが、今年は参加人数を制限して、園児も年齢別に対策をして、工具体験と木工を楽しむ。	
	上記幼稚園（羽曳野市）			

たいけん・ものしり活動			令和三年度事業報告（R3/7/1～R4/6/30）	
B：部会活動（会員の研修会や勉強会、他機関との会合等）				
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等	
	相手先・依頼主			
	場所		成果	
I	材料調達	10/14	自然木の調達	
	13名		幼稚園の活動の為の材料調達（丸太輪切りと小枝収集）として作業をする事と、親睦を兼ねる。	
	岡さん能勢別荘			

ふくてっくのつどい			令和三年度収益費用報告（R3/7/1～R4/6/30）	
事業・部会 No.	事業名	収益	費用	差益
A-I	幼稚園親子木工教室	20,000	27,348	△ 7,348
合 計		20,000	27,348	△ 7,348

2. りのべる部会（旧：東大阪部会）報告 （清水会員）

- ・令和4年4月1日より部会名の名称を「りのべる」に改めました。
- ・「renovation/リノベーション/刷新」「pal/パル/仲間」二つ言葉を合体させました。
- ・2008年から開始した介護保険住宅改修適正化検証の委託事業は2022年3月末に終了しました。2021年8月の理事会でご報告しました東大阪市2022年度方針の受入有無について、部会で検討した結果、市の条件では活動継続不可と判断しました。
- ・東大阪の登録事業者研修会は昨年と同じく対面研修会は中止。東大阪市HPを介しての研修となり資料作成作業のみとなりました。
- ・りのべる（旧：東大阪部会）は、2006年度東大阪の委託事業として始まった改造助成の適正検証事業は当初は高齢者・重度身体障害者を対象としていましたが、2017年度対象者から高齢者が除かれ重度身体障害者のみとなりました。東大阪市長令和4年度改造助成制度において、対象者の拡充が検討され当会にも意見を求められましたが、委託事業スタート時から当会が対象者を3障害（身体障害・知的障害・精神障害）にとの訴えも、令和4年度も実現には至りませんでした。当会としては、利用者ファーストの考えを基に改造助成の適正化検証に関わり今年度も継続して事業を展開していきますが、私たちのような第三者機関が検証する必要のない行政システムと地域福祉力が連携して支える社会を目指します。
- ・寝屋川市介護保険住宅改修研修会はクラスター防止の為、中止となりました。
- ・令和4年4月より「住宅改善サポート」をスタートしました。暮らしているお住まいに不自由・不便が生じている高齢者や障害のある方を対象に、住まいに関するアドバイス等の活動を実施。
- ・大阪市住まいの情報センター/出前講座はコロナ禍において申込がなく、実施できていません。
- ・令和2年度に購入したアシスト自転車2台は会員に譲渡しました。

りのべる部会				令和三年度事業報告（R3/7/1～R4/6/30）
A：事業活動				（有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動）
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等	
	相手先・依頼主			
	場所		成果	
1	東大阪市重度身体障害者住宅改修費助成制度適正検証事業	R3年 7/1～ R4年 6/30	目的：障害者の住環境のバリアフリー化を促進する。	
	東大阪市		障害者の住環境が改善され、継続して在宅生活を送る事ができる。	
	東大阪市内		検証案件：R3/7～R4/6 6案件（R3/4～R4/3 5案件） 事前相談会：R3/7～R4/6 2件/2日（H3/4～R4/3 1件/1日）	
2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業	R3年 7/1～ R4年 3/31	目的：対象者の自立支援や事故防止、住宅改修の質的向上と、不適切な介護保険適用を抑制する。	
	東大阪市		高齢者の自立した日常生活を継続し、介護者の負担を軽減する。	
	東大阪市内		検証案件：R3/7～R4/3 単独事前＆事後＆再68件 併用事前＆事後2件	
3	東大阪市介護保険住宅改修研修会	R3年 9/中旬	目的：高齢者等の生活の質の向上及び自立を支援する住環境整備のスキルの向上。	
	東大阪市		高齢者の安心・安全な暮らしを実現すると共に、施工業者の不正の抑止と資質の向上を誘導する。今年度は、対面研修会は中止。事業者が研修資料を東大阪市HPよりダウンロードし、質問の回答を市にFAXする方法で実施することになり、申請に不備のある申請要件を抽出した資料を作成し納品する。	
	東大阪市内			
4	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	中止	目的：健全な制度利用と、施工事業者・介護支援専門員の資質向上への支援。	
	寝屋川市			
	寝屋川市立保健福祉センター			
5	大阪市住まいの情報センター・出前講座	R3年 7/1～ R4年 6/30	目的：高齢者やその家族が自立した生活を継続するために必要な住環境改善について知識を有し、主体的に取り組む事を目指す テーマ：「たかが手すり・されど手すり」「介護保険の住宅改修」	
	市民		コロナ禍での対面講座の依頼が無く、実施できていません。	
	大阪市内			
6	住宅改善サポート	R4年 4/1～ 6/30	目的：高齢者や障害のある人がその人らしく暮らせる住環境を整備する 内容：訪問相談、同行、アドバイス等	
	市民		個別性に合わせた要望に対応し、only oneの住環境を提案する	
	大阪府下			

りのべる部会（旧：東大阪部会）			令和三年度事業報告（R3/7/1～R4/6/30）	
B：部会活動			（会員の研修会や勉強会、他機関との会合等）	
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等	
	相手先・依頼主		成果	
	場所			
1	定例会部会(月1回開催)	R3年7月 ～ R4年6月	目的：東大阪部会活動における情報の共有と促進 内容：活動の報告・連絡・検討 出席者：7/17-9名・8/21-11名・9/18-6名・10/16-7名・☆11/20-7名・☆12/18-8名・ ☆1/15-7名・2/19-7名・3/19-8名・4/16-8名・★5/21-6名・★6/18-6名	
	検証メンバー	第3土曜 12回	チームで取組、公正・適切、且つ、迅速な検証活動を行うことによって、高齢者や障がい者等の在宅生活の継続に寄与する	
	大阪市立社会福祉センター・ ☆生玉会館他・★リモート			

R3年度りのべる検証活動 作業担当報告

月	検証活動日	検証記録	改造助成事前相談会		活動予定	部会			ふくてっく定例会	その他活動予定
	介護住介：木曜 ゴシックは水曜 改造助成：第1・3木曜	集積送信	第3木曜	担当	作成連絡	第3土曜	議事進行	記録	発表担当	
7	1. 8. 15. <u>21</u>	小川	7/15	中止	7/8 7/21 小川	7/17	山本	大塚	7/3「ひょっとしてHSPでは!」 小川	
8	5. 12. 26	清水	8/19	清水	8/12 8/26 山本	8/21	川北	清水	8/7「東大阪部会活動のSDGs」 清水	8/5. 12. 26郵送書類審査
9	16. 30	磯田	9/16	中止	9/22 小川	9/18	山本	磯田	9/4「東大阪あれこれ」 磯田	9/16郵送書類審査 寝屋川研修中止
10	7. 14. 21. 28	春岡	10/21	中止	10/14 10/28 小川	10/16	山本	曾我部	10/2「雨の名前」 春岡	
11	4. 18. 25	曾我部	11/18	中止	11/25 山本	11/20	山本	曾我部	11/6「脳トレ」 曾我部	11/4郵送書類審査
12	2. 9. 16. 23	寺岡	12/16	中止	12/9 12/23 山本	12/18	山本	清水	12/4「絆を植えた人」朗読 寺岡	部会/あべの市民学習センター
1	13. 20. 27	清水	1/20	中止	1/13 1/27 小川	1/15	山本	寺岡	1/8発表なし	1/6 障害協議部会/生魂会館
2	3. 10. 17. 24	大塚	2/17	小川	2/10 2/24 山本	2/19	山本	鎌田	2/5「東大阪市みんなでトライする手話言語推進条例」の紹介 山本	
3	3. 10. 17. 24. 31	後藤	3/17	後藤	3/10 3/24 山本	3/19	山本	後藤	3/5「平野区奥田邸(重要文化財) 江戸時代の庄屋宅・東大阪重要文化財マップの紹介」 後藤	
4	-	-	4/21	中止	-	4/16	清水	山本	4/2「これからの部会活動」 清水	
5	-	-	5/19	山本	-	5/20	清水	清水	5/7「風の名前」 春岡	5/16寝屋川市打合せ 部会：リモート/ZOOM
6	16	後藤	6/16	中止	山本	6/18	清水	寺岡	6/4「地域の由来」 大塚	部会：リモート/ZOOM

※R3/7～R4/3「活動予定/作成・連絡」は、上記以外の活動日は清水が担当。

りのべる部会				
令和三年度収益費用報告 (R3/7/1~R4/6/30)				
事業・部会 No.	事業名	収益	費用	差益
A-1	東大阪市重度障害者住宅改造費助成制度 適正検証事業	191,950	1,189,757	△ 224,067
			諸謝金 1,021,200	
			印刷製本費 0	
			通信運搬費 1,940	
A-2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業	773,740	消耗品費 20,800	
			旅費交通費 105,496	
			会議費 22,280	
			租税公課 600	
			支払手数料 7,183	
			雑費 10,258	
A-3	東大阪市介護保険住宅改修研修会	30,000	27,000	3,000
			諸謝金 27,000	
A-4	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	0	0	0
			諸謝金 0	
A-5	大阪市住まい情報センター ・出前講座	0	0	0
			諸謝金 0	
			旅費交通費 0	
A-6	住宅改善サポート事業	50,000	46,000	4,000
			諸謝金 40,000	
			旅費交通費 6,000	
	雑収入	60,000		60,000
合計		1,105,690	1,262,757	△ 157,067

諸謝金	1,088,200
旅費交通費	111,496
消耗品費	20,800
印刷製本費	0
通信運搬費	1,940
会議費	22,280
租税公課	600
支払手数料	7,184
雑費	10,258

3. こむねっと部会

(中北会員)

◆総括

R3年度計画	実績評価
◆第三者評価事業の拡大発展 既規約分の取組の完遂 第三蓮（第三者評価調査者連絡会）への参加協力を通じて評価機関のネットワークと、評価活動の広域化に寄与してゆきます。 ◆外部連携先とのネットワーク拡張	◆福祉サービス第三者評価事業については、らくじ会グループの多数な案件を全て完了しました。そのほか、社会的養護関係施設5件、一時保護所2件、高齢福祉4件、保育所1件の評価をまとめています。評価調査メンバーも令和3年度の養成研修を修了して4名の増員を得ています。 大阪の評価機関連絡会は例年通り継続し、評価機関どうしの情報共有など、一定の機能を保っています。 全国第三者評価調査者連絡会については、中北が監事に就任するなど関係性を深めています。 ◆外部連携については、りすくのつく事業およびBCP研究会などの協働取組は、コロナ禍の中で再開の目途は立っていませんが、諸団体との連携は維持しています。

こむねっと部会

令和三年度事業報告（R3/7/1～R4/6/30）

A：事業活動

(有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)

No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		
	場所		成果
1-1	福祉サービス第三者評価	通年	大阪府地域福祉推進審議会および評価機関連絡会
	大阪府・評価機関		令和3年度も地域福祉審議会の開催はなく、第三者評価基準等部会も機能していません。
	大阪府庁ほか		
1-2	福祉サービス第三者評価	通年	第三者評価活動
	福祉事業所		令和3年度は、らくじ会グループの12件を含め、19件の評価を完了。その上で令和4年度の取組となる件として、社会的養護施設7件、保育所2件の評価に向けて準備中です。
	大阪府・兵庫県・奈良県		
2	りすくのつく	通年	障害者居宅の防災支援活動
	ゆめ風基金		残念ながら、評価できる活動は確認できません。
	大阪府下		ゆめ風基金Nさんから「どうしたものか」と相談があったが、打開は難しいでしょうと回答しました。
4	外部連携		直ちに具体的なプロジェクトを企図するものではないが、諸団体等との連携を深め、ネットワークを構築する
	ボラ協 NPOゆめ風基金 NPOセンター NPOちゅうぶ NPOぱあとなあ (一社) 奈良市手をつなぐ親の会・奈良美鹿の会 大阪精神医療人権センター BCP研究会 NPO第三蓮		【ボラ協】前年に引き卯月コロナ禍の影響による行事中止が多くなったが、ネットやメール等によりメンバー間の情報共有は図られています。 【その他団体】ちゅうぶ、ぱあとなあの2団体とは中北が監事、運営委員として関係しつつ、こむねっととの協働課題を視野に入れ、障害福祉分野とのネットワークの深化を図っています。 当事者中心の団体として連携の意義はとても高いものがあります。 【大阪府精神医療人権センター】 コロナ禍により病院訪問活動は休眠状態が続きました。しかし、大阪が先駆けの事業が、他府県にも広がって来ました。

こむねっと部会			令和三年度事業報告（R3/7/1～R4/6/30）	
B：部会活動			（会員の研修会や勉強会、他機関との会合等）	
No.	事業名		日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主			
	場所			
1	7月部会		7/17 （土）	議題1）らくじ苑 訪問調査の振り返り 議題2）今後の評価スケジュールとメンバー調整 議題3）保育所の第三者評価について 評価事業普及協議会資料の検討／藍咲学園の取組について 議題4）こむねっと部会 決算・事業計画
	14名			
	大阪市立社会福祉センター			
2	8月部会		8/21 （土）	報告）受注案件の進行状況。 議題1）らくじ会グループホーム施設見学の振り返り／認知症GHの評価について 議題2）今後の取組の進め方・評価分担調整について
	14名			
	大阪市立社会福祉センター			
3	9月部会（その1）		9/4 （土）	報告）受注案件の進行状況。 議題1）一時保護所の評価について 大阪市中央のふりかえり／神戸市の取組に向けて
	10名			
	大阪市立社会福祉センター			
3	9月部会（その2）		9/18 （土）	報告）受注案件の進行状況。 議題1）らくじ会関係施設第三者評価の振り返り 議題2）高齢者施設第三者評価について 議題3）母子生活支援施設と児童養護施設の第三者評価
	12名			
	大阪市立社会福祉センター			
4	10月部会		10/16 （土）	報告）受注案件の進行状況。 議題1）第三者評価についての困難課題 理念・基本方針の周知／中長期計画／事業計画の周知／管理者のリーダーシップ／ 業務の実効性／人材育成／総合的人事管理／地域交流・地域貢献／自己決定支援／利 用者満足 標準の実施方法／個別支援計画／事業主体による判断／事前アンケート／訪問調査の ルール
	10名			
	大阪市立社会福祉センター			
6	11月部会		11/21 （土）	報告）阿武山学園（児童自立支援施設）受審に関して 議題1）訪問調査の振り返り 1. 弘済みらい円・のぞみ園 2. 助松寮 議題2）評価結果報告に向けて 1. 天王谷学園 2. 和泉乳児院 議題3）進行中案件について
	6名			
	大阪市立社会福祉センター			
7	12月部会		12/19 （土）	報告）受審相談対応 1. 保育所 2. 福祉型児童発達支援センター 議題1）訪問調査の振り返り 南さくら園 議題2）和泉乳児院 評価結果報告会について 議題3）阿武山学園 ガイダンスおよび施設見学について 議題4）弘済みらい園・のぞみ園の評価調整 議題5）ワークショップ ふくてっくの第三者評価についてSWOT分析 議題6）兵庫県の評価機関認証
	12名			
	大阪市立社会福祉センター			
8	1月部会		1/16 （土）	議題1）助松寮 評価結果の内容確認 議題2）弘済みらい園・のぞみ園 評価結果の最終チェック 議題3）南さくら園 評価結果の最終チェック 議題4）今後の第三者評価取組にむけて ①訪問後の評価検討相互交信ルール ②ドロップボックス活用その他
	11名			
	大阪市立社会福祉センター			
9	2月部会		2/20 （土）	報告）各施設 評価結果報告会の反応 兵庫県・奈良県の第三者評価事業 議題1）阿武山学園 第三者評価活動について 議題2）らくじ会グループの第三者評価について 議題3）令和2-3年度の活動費特別増額支給について 議題4）最新の評価基準確認 議題5）ぱあとなあからの相談案件（障がい者の地域生活支援）
	8名			
	大阪市立社会福祉センター			
10	3月部会		3/27 （土）	報告）・ 評価結果 ①阿武山学園 ②フライングポニー ・ 今後の受審見込み ・ ぱあとなあからの相談案件、その後 議題1）らくじ会 第三者評価活動について 議題2）令和2年度の評価活動をふりかえって
	7名			
	大阪市立社会福祉センター			
11	4月部会		4/17 （土）	報告）その後の第三者評価、問い合わせ経緯 議題1）各種高齢福祉サービスの評価活動に関する学習会 ・ 居宅介護支援 ・ デイサービス ・ 小規模多機能 ・ 特養 ・ ショートステイ ・ ケアハウス ・ 有料老人ホーム ・ グループホーム
	9名			
	大阪市立社会福祉センター			
	5月部会・6月部会			休会

こむねっと部会			令和三年度収益費用報告（R3/7/1～R4/6/30）		
事業・部会 No.	事業名		収益	費用	差益
B-1- 1～12	こむねっと部会 共通経費	①会議費		34,160	△ 42,729
		②諸会費			
		③支払い手数料		8,569	
A1	第三者評価事業	事業収入	6,838,820		
		諸謝金		4,956,450	
		印刷製本費		572,000	
		旅費交通費		525,385	
		通信運搬費		2,634	
		消耗品費			
		新聞図書費			
		租税公課			
		研修費		211,000	
		雑費		273,051	
（ 小 計 ）		6,838,820	6,540,520	298,300	
A2	地域資源の利活用による障がい者地域生活拠点構想		0	0	0
A2	SCP事業		0	0	0
A3	りすくのつく		0	0	0
A4	外部連携		0	0	0
合計			6,838,820	6,583,249	255,571

3.7%

こむねっと部会の期首収支計画では、第三者評価事業で約790万円の収入を見込んでいましたが、一部予定案件の中止やコロナ禍にともなう延期があり、約100万円の減少となりました。
収支差額も計画より若干の減となっています。

議長は、以上3部会からの報告を受けて、意見を求めた。
一同、異議なくこれを昇任した。

令和3年7月1日から令和4年6月30日まで

活動計算書

(単位:円)

科目	決算金額			期首予算額	前年決算額
I 経常収益					
1. 受取会費					
正会員受取会費	155,000			165,000	155,000
通信会員受取会費	2,500			2,500	2,500
学生会員受取会費	1,000			1,000	1,000
例会参加受取会費	500			1,500	-
受取会費計		159,000		170,000	158,500
2. 受取寄附金					
受取寄附金	100,000			-	200,000
受取寄附金計		100,000		-	200,000
3. 受取助成金等					
事業復活支援金	1,000,000			-	2,500,000
受取寄附金計		1,000,000		-	2,500,000
4. 事業収益					
ふくてっくのつどい	20,000			70,000	20,000
りのべる	1,045,690			3,268,000	3,036,300
こむねっと部会	6,838,820			7,896,900	4,191,000
事業収益計		7,904,510		11,234,900	7,247,300
5. その他収益					
受取利息	73			90	87
雑収益	60,312			-	8
その他収益計		60,385		90	95
経常収益計			9,223,895	11,404,990	10,105,895
II 経常費用					
1. 事業費					
(人件費)					
給料、手当(事業)	18,000			60,000	3,000
人件費計		18,000		60,000	3,000
(その他経費)					
材料費	2,400			20,000	
業務委託費	-			-	-
諸謝金	6,044,650			8,900,000	7,431,678
印刷製本費(事業)	572,000			400,000	342,005
会議費(事業)	56,440			35,000	16,760
旅費交通費(事業)	639,881			450,000	390,105
車両費	3,380				69,500
通信運搬費(事業)	4,576			10,000	5,559
消耗品費(事業)	20,800			40,000	32,350
諸会費				30,000	13,000
租税公課(事業)	600			10,000	6,600
研修費	211,000			200,000	98,500
支払手数料(事業)	15,752			22,000	19,305
雑費	283,875			30,000	517,720
その他経費計		7,855,354		10,147,000	8,943,082
事業費計		7,873,354		10,207,000	8,946,082

2. 管理費					
(人件費)					
給与 手当	170,000			182,000	147,000
通勤費	34,980			35,000	34,980
人件費計		204,980		217,000	181,980
(その他経費)					
諸謝金	32,274			45,000	11,137
印刷製本費	200			1,000	250
会議費	118,720			65,000	54,480
旅費交通費	30,000			20,000	-
通信運搬費	61,433			85,000	71,218
消耗品費	217			20,000	15,460
地代家賃	419,892			420,000	419,892
接待交際費	-			-	-
新聞図書費					1,200
減価償却費	-			-	-
保険料				36,000	36,000
諸会費	33,000			45,000	-
慶弔費	-			-	-
租税公課	70,009			70,000	70,012
支払手数料	51,299			32,000	30,770
事務用品費	-			80,000	-
雑費	46,406			20,000	6,538
その他経費計		863,450		939,000	716,957
管理費計		1,068,430		1,156,000	898,937
経常費用計			8,941,784	11,363,000	9,845,019
当期経常増減額			282,111	41,990	260,876
Ⅲ 経常外収益					
経常外収益計		-		-	-
Ⅳ 経常外費用					
経常外費用計		-		-	-
税引前当期正味財産増減額			282,111	41,990	260,876
当期正味財産増減額			282,111	41,990	260,876
前期繰越正味財産額			7,562,937	7,562,937	7,302,061
次期繰越正味財産額			7,845,048	7,604,927	7,562,937

令和3年度も、コロナ禍に伴う事業停滞や延期などがあり、事業収益は期首計画に比して大きく減少しました。事業復活支援金や寄付金を得ましたが、経常収益は計画比で200万あまりの減少となっています。

経常費用も減少していますので、ほぼ前年度と同等の収支差額を残すことができました。

貸 借 対 照 表

令和4年 6 月30日現在

(単位：円)

I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,148,834		
未収金	1,566,300		
流動資産合計		7,715,134	
2. 固定資産			
什器備品	2		
保証金	137,412		
固定資産合計		137,414	
資産の部合計			7,852,548
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払い金	-		
預り金	7,500		
流動負債合計		7,500	
負債の部合計			7,500
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		7,562,937	
当期正味財産増減額		282,111	
正味財産の部合計			7,845,048
負債・正味財産の部合計			7,852,548

財産目録

令和3年 6 月30日現在

(単位：円)

I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	62,765		
三菱UFJ銀行梅田支店	5,003,761		
ゆうちょ銀行	934,918		
郵便振替口座	147,390		
未収金（こむねっと事業収益）	1,566,300		
流動資産合計		7,715,134	
2. 固定資産			
什器備品	2		
保証金	137,412		
固定資産合計		137,414	
資産の部合計			7,852,548
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払い金	0		
預り金	7,500		
流動負債合計		7,500	
負債の部合計			7,500
正味財産			7,845,048

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NP0法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正NP0法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

(2) 消費税の会計処理

消費税は税込経理により処理しています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下のとおりです。

	ふくてっくの つとい	りのべる	こむねっと	事業費計	管理費	合 計
I 経常収益						
1. 受取会費				-	159,000	159,000
2. 受取寄付金				-	100,000	100,000
3. 受取助成金等				-	1,000,000	1,000,000
4. 事業収益	20,000	1,045,690	6,838,820	7,904,510		7,904,510
5. その他収益		60,000		60,000	385	60,385
経常収益計	20,000	1,105,690	6,838,820	7,964,510	1,259,385	9,223,895
II 経常費用						
1. 人件費				-		
給与・手当	18,000			18,000	170,000	188,000
通勤費				-	34,980	34,980
(人件費計)	18,000	-	-	18,000	204,980	222,980
2. その他費用						
材料費	2,400			2,400		2,400
業務委託費				-		-
諸謝金		1,088,200	4,956,450	6,044,650	32,274	6,076,924
印刷製本費			572,000	572,000	200	572,200
会議費		22,280	34,160	56,440	118,720	175,160
旅費交通費	3,000	111,496	525,385	639,881	30,000	669,881
車両費	3,380			3,380	-	3,380
通信運搬費	2	1,940	2,634	4,576	61,433	66,009
消耗品費		20,800		20,800	217	21,017
地代家賃				-	419,892	419,892
諸会費				-	33,000	33,000
新聞図書費				-	-	-
保険料				-	-	-
租税公課		600		600	70,009	70,609
研修費			211,000	211,000		211,000
支払手数料		7,183	8,569	15,752	51,299	67,051
雑費	566	10,258	273,051	283,875	46,406	330,281
(その他経費計)	9,348	1,262,757	6,583,249	7,855,354	863,450	8,718,804
経常費用計	27,348	1,262,757	6,583,249	7,873,354	1,068,430	8,941,784
当期経常増減額	-7,348	-157,067	255,571	91,156	190,955	282,111

3. 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	減価償却累計額	期末帳簿価額
什器備品	427,590	0	0	427,588	2
合計	427,590	0	0	427,588	2

パソコン1台 プロジェクター1台

議長は、令和2年度に引き続いて多額の受取助成金等を得て、経常益を計上することができたが、今後はそのようなおこちゃ期待できないことを踏まえて、会運営の在り方を根本的に見直す必要に迫られていることを理解してほしい旨、発言したうえで意見を求めたところ、一同異議なくこれを承認した。

監 査 報 告 書

令和4年8月6日

特定非営利活動法人 ふくてつく
理事長 小川 忠雄 様

監 事 秋岡 安



監 事 稲住 泰広



特定非営利活動法人ふくてつく 定款第34条に基づき、令和3年度における監事
監査を令和4年8月1日に実施したところ、次の通りであったので報告します。

- | | |
|------------|--------|
| ・法人の財産管理状況 | 特に問題なし |
| ・法人の会計状況 | 特に問題なし |
| ・その他の状況 | 特に問題なし |

4号議案 令和四年度活動計画

1. ふくてっくのつどい（ものづくり）

（小川会員）

ものづくり活動			令和四年度事業計画（R4/7/1～R5/6/30）	
A：事業活動（有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動）				
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等	
	相手先・依頼主		期待する成果	
	場所			
1	幼稚園木工教室	11/1	感染対策をして実施予定（親子交流・ものづくり体験活動）。	
	羽曳野市立高鷲南幼稚園		人生初体験！工具を使って切ったり打ったり貴重なワクワク、ドキドキ体験活動。	
	上記幼稚園（羽曳野市）			
2	池島ふれあいまつり	11/23	感染対策をして実施予定（地域のまつり活性化貢献活動）。	
	社会福祉法人海の子の家		地域交流として活動を継続しており、毎年工作機会を期待している市民との交流活動。	
	池島公園			
3	幼稚園先生工作講座	1/11	木工に対する知識の習得。	
	生駒市立幼稚園		生駒市の幼稚園での木イベント開催に向けて先生方が企画できるよう活動。	
	生駒市立幼稚園			
4	院内学級木工授業	未定	院内へのボランティア受入れ検討中（院内学級での工作授業活動）。	
	あそぼくくる		変化の少ない入院生活に少しの刺激と創意工夫の時間創出活動。	
	大阪市立総合医療センター			
5	てんかん啓発イベント DAY	3月予定	感染対策をして実施予定（「てんかん」の周知活動）。	
	読売		「てんかん」という病気を知ってもらう、無知による差別を無くす為の啓発活動への貢献活動。	
	長居植物園			
6	共生・共走リレマソン	5月予定	感染対策をして実施予定（障がい者・児とのふれあい活動）。	
	マツカ		障がい児・者がスポーツを通じて交流する場に参加し、自由木工を通じての交流活動。	
	花博鶴見緑地公園		そして「つどい」年度最後の活動の締めくくりとしての活動。	
B：部会活動（会員の研修会や勉強会、他機関との会合等）				
たいけん・ものしり活動			令和四年度事業計画（R4/7/1～R5/6/30）	
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等	
	参加者・人数		期待する成果	
	場所			
1	里山材料調達	3回／年	木工活動の材料調達	
			丸太輪切りや枝の収集など自然の恩恵を授かる。	
	生駒いいもり山&岡別荘			
2	バーベキュー＆交流会	10月予定	会員間交流	
	10名参加予定		ふくてっく会員の慰労企画。	
	屋外公園&岡別荘（能勢）			
3	カニご賞味会＆交流会	3月予定	会員間交流	
	10名参加予定		ふくてっく会員の慰労企画。	
	岡邸			
ものづくり活動			令和四年度収益予算計画（R4/7/1～R5/6/30）	
事業・部会 No.	事業名	収益	費用	差益
A-1	池島ふれあいまつり	20,000	20,000	0
A-2	幼稚園木工教室	20,000	15,000	5,000
A-3	幼稚園先生工作講座	20,000	10,000	10,000
A-4	院内学級木工授業	5,000	10,000	△ 5,000
A-5	てんかん啓発イベント DAY	20,000	20,000	0
A-6	共生・共走リレマソン	5,000	15,000	△ 10,000
合 計		90,000	90,000	0

2. りのべる部会

(清水会員)

・令和4年4月1日より部会名の名称を「りのべる」renovation + palに改めました。新部会名が意味するように、過去の活動に捉われず、蓄積したスキルを活用した新たな取組を進めていきます。当会のメンバーに関わらず、住環境を良くしたいと考える当事者や支援者と一緒に、支援する側、支援される側のスタンスではなく、お互い主体的に関わっていけるような活動を推進していきます。

・東大阪市重度身体障害者住宅改造費助成制度適正検証事業の委託事業は2006年からスタートしました。2017年に対象者から高齢者が除かれたが、当会としては、利用者ファーストの考えを基に改造助成の適正化検証に関わり今年度も継続して事業を展開していきますが、私たちのような第三者機関が検証する必要のない行政システムと地域福祉力が連携して支える社会を目指します。

・9/6寝屋川市介護保険住宅改修研修会講師を担当します。

・大阪市住まいの情報センターの出前講座はコロナ禍において対面講座の実施は難しいので、オンラインでの講座も開催する事にしました。また、タイアップ事業として、12/11ワークショップ「かるた遊びから学ぶ、家庭でできる防災防犯教育」を実施します。

・令和4年4月より「住宅改善サポート」をスタートしました。暮らしているお住まいに不自由・不便が生じている高齢者や障害のある方を対象に、住まいに関するアドバイス等の活動を実施していきます。まず、活動を周知していくために、チラシ（つどいと合同）を作成し、各ボランティア市民活動センターや地域包括支援センターに配布する予定です。

りのべる部会				令和四年度事業報告 (R4/7/1～R5/6/30)
A：事業活動				(有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等	
	相手先・依頼主		期待する成果	
	場所			
1	東大阪市重度身体障害者住宅改造費助成制度適正検証事業	R4年 7/1～ R5年 6/30	目的：障害者の住環境のバリアフリー化を促進する。	
	東大阪市		障害者の住環境が改善され、継続して在宅生活を送る事ができる。	
	東大阪市内		R4/4～R5/3契約：検証15案件、事前相談会6回、書類審査9回	
2	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	R4年 9/6	目的：健全な制度利用と、施工事業者・介護支援専門員の資質向上への支援。	
	寝屋川市		施工事業者・介護支援専門員の資質の向上を図ることにより、質の良い住環境のバリアフリー化を促進する。	
	寝屋川市立保健福祉センター		■給付券方式施工登録事業所研修会①10:30～12:00 ③15:00～16:30 ■介護支援専門員介護住改研修会 ②13:00～14:30 講師：山本・清水	
3-1	大阪市住まいの情報センター/出前講座	R4年7月～ R5年6月	目的：高齢者やその家族が自立した生活を継続するために必要な住環境改善について知識を有し、主体的に取り組む事を目指す テーマ：「たかが手すり・されど手すり」「介護保険の住宅改修」	
	市民		高齢者の身近なテーマから、住環境改善の知識を有し主体的に住環境整備に関わり、安心・安全な暮らしを継続する。	
	大阪市内			
3-2	大阪市住まいの情報センター/タイアップ事業	R4年7月～ R5年6月	ワークショップ：かるた遊びから学ぶ、家庭でできる防災防犯教育 日時：12月11日(日) A:11:00～11:50 B:14:00～14:50 場所：3階ホール 担当者：清水・寺岡・春岡 定員：A:会場15組(就学前の子ども・保護者又は大人同伴) B:会場15組(小学校低学年・保護者又は大人同伴) 遊びながら学ぶ。親に向けて：親がそばに居ないときに何か危険な状況に置かれても、自分で自分の身を守る方法をきちんと教育できる。 子どもに向けて：災害時に適正な行動がとれるようになる、危険な状況を未然に防げるようになる。	
	子どもと保護者		毎日の生活を整えておくことが防災、防犯につながる。自分で自分の命を守る知識を持ち、行動がとれる人を育てる。「生活防災」を知り、普段の生活にまさかの時の工夫を取り入れる。	
	大阪市内			
4	住宅改善サポート	R4年7月～ R5年6月	目的：高齢者や障害のある人がその人らしく暮らせる住環境を整備する 内容：訪問相談、同行、アドバイス等	
	高齢者・障害のある人		個別性に合わせた要望に対応し、その人らしく暮らせる住環境を提案する	
	大阪府下			

りのべる部会		令和四年度事業報告（R4/7/1～R5/6/30）	
B：部会活動（会員の研修会や勉強会、他機関との会合等）			
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	参加者・人数		期待する成果
	場所		
I	定例会(月1回開催)	R4年7月 ～ R5年6月	目的：東大阪部会活動における情報の共有と促進 内容：活動の報告・連絡・検討
	検証メンバー	第3土曜 12回	チームで取組、公正・適切、且つ、迅速な検証活動を行うことによって、高齢者や障がい者等の在宅生活の継続に寄与する
	大阪市立社会福祉センター・リモート/ZOOM会議		

R4年度東大阪検証活動 作業担当予定

月	検証活動日	検証記録	改造助成事前相談会		活動予定	部会			ふくてっく定例会	その他活動予定および備考
	介護住介：木曜 ゴシックは水曜 改造助成：第1・3木曜	集積送信	第3木曜	担当	作成連絡	第3土曜	議事進行	記録	発表担当	
7	21	鎌田	7/21	清水	山本	7/16	清水	小川		
8	4.10.18.25	輪番制	8/18	輪番制	山本	8/20	山本	後藤	8/6発表なし	部会：リモート/ZOOM会議
9	1.8.15.22.29	輪番制	9/15	輪番制	山本	9/17	山本	鎌田		9/6寝屋川市介護住改研修会 部会：リモート/ZOOM会議
10	6.13.20.27	輪番制	10/20	輪番制	山本	10/15	山本	大塚		部会：リモート/ZOOM会議
11	2.10.17.24	輪番制	11/17	輪番制	山本	11/19	山本	曾我部		
12	1.8.15.22	輪番制	12/15	輪番制	山本	12/17	山本	春岡		部会：リモート/ZOOM会議
1	5.12.19.26	輪番制	1/19	輪番制	山本	1/21	山本	山本	1/8発表なし	部会：リモート/ZOOM会議
2	2.9.16.22	輪番制	2/16	輪番制	山本	2/18	山本	後藤		部会：リモート/ZOOM会議
3	2.9.16	輪番制	3/16	輪番制	山本	3/18	山本	清水		
4	未定	輪番制	未定	未定	山本	4/15	山本	未定		部会：リモート/ZOOM会議
5	未定	輪番制	未定	未定	山本	5/20	山本	未定		部会：リモート/ZOOM会議
6	未定	輪番制	未定	未定	山本	6/17	山本	未定		部会：リモート/ZOOM会議

りのべる部会		令和四年度収支計画（R4/7/1～R5/6/30）			
事業・部会 No.	事業名	収益	費用		差益
A-1	東大阪市重度障害者住宅改造費助成制度 適正検証事業	400,000	200,000		200,000
			諸謝金	148,000	
			旅費交通費	36,800	
			消耗品費	3,000	
			会議費	12,000	
			租税公課	200	
A-2	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	100,000	90,000		10,000
			諸謝金	87,500	
			旅費交通費	2,500	
A-3	大阪市住まい情報センター ・出前講座　・タイアップ事業	0	200,000		△ 200,000
			諸謝金	150,000	
			旅費交通費	20,000	
			消耗品費	30,000	
A-4	住宅改善サポート	250,000	260,000		△ 10,000
			諸謝金	200,000	
			旅費交通費	30,000	
			消耗品費	10,000	
			印刷製本費	20,000	
合　計		750,000	750,000		0
			諸謝金	585,500	0.0%
			旅費交通費	89,300	
			消耗品費	43,000	
			会議費	12,000	
			租税公課	200	
			印刷製本費	20,000	

3. こむねっと部会

令和四年度事業計画 (R4/7/1～R5/6/30)

A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No.	事業名 相手先・依頼主 場所	日付 期間	事業目的・内容等
			期待する成果
1-1	第三者評価 ①	R4年 7月～ R5年 6月	大阪府地域福祉推進審議会 福祉サービス第三者評価分科会・同基準等部会 評価機関連絡会
	大阪府推進審議会 大阪府福祉事業財団 評価機関連絡会 第三連		大阪府地域福祉審議会及び評価基準等部会は、名目上の参加が続くものと思われます。 評価機関連絡会は今後リモート会議が続くと思われますが、共同で研修会を企画するなど、徐々に連絡会機能を充実していきます。 第三連（第三者評価調査者連絡会）では、監事に就任するとともに、厚労省からの補助金を得て調査活動に参加します。
	大阪府および全国		
1-2	第三者評価 ②	R4年 7月～ R5年 6月	ふくてっく第三者評価事業の拡大発展
	評価機関体制整備と 評価の取り組み		今年度は、一時期に評価活動が集中することを避け、概ね2週間の枠に1件ずつの訪問調査日程を割り当てることができるよう、受注制限する計画です。 既に今年末まではほぼ予定が詰まっています。 活動を制限する中で、当会の第三者評価システムを見直し、評価の標準化と体制の確立に努める一年とします。 また、昨年度によりよく取組むことができた保育所の評価を軌道に載せることと、未着手の分野の評価も開拓していきたいと考えています。
	大阪・奈良・兵庫 および周辺府県		
2	SCP研究会 りすくのつく その他 外部連携による協働事業 概ね大阪府下	R4 7月～ R5年 6月	事業継続の意義や実現性を吟味して、その存続可否を判断します。
3	空家。空きビル等の 社会資源を福祉利用する 支援		
	大阪を中心とする近畿圏		
4	各種研修会および 自己啓発機会		ふくてっく会員が広く参加できる市民活動と自己開発機会の創出を目指します。

福祉サービス第三者評価事業は、平成17年6月に大阪府から評価機関認証を受け、既に17年を経過。18年目に入っています。近年は、がむしゃらに活動の拡大を図ってきましたが、今後は計画的に受注して、丁寧な評価活動に徹するほか、持続可能な体制の確立を目指します。

一方、当面はコミュニティビジネスとしての第三者評価事業が、NPOふくてっくの財政上の牽引を担う必要もあり、業務の合理化をいっそう追求する必要に迫られています。

外部連携については、活動の現状を冷静に評価して、精力の分散を避け、効率的な展開を目指します。その中で、ふくてっくの特徴を活かして、空家空きビル活用の福祉拠点づくりに注力していきます。

B：部会活動			
(会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No.	事業名 参加者・人数 場所	日付 期間	事業目的・内容等
			期待する成果
1	7月部会	7/16	福祉サービス第三者評価事業
	14名		報告) 第三者評価受審契約の状況 議題1) 令和3年度の第三者評価事業収支報告等 議題2) 秋以降の評価スケジュール確認、参加メンバーの調整 議題3) 指導者研修のフィードバックについて
	大阪市立社会福祉センター		
2	8月部会	8/20	福祉サービス第三者評価事業
	第三者評価調査者		議題1) 指導者研修の成果の共有 議題2) 外部連携活動の振り返り 企画) 暑気払い 話題: 外部連携活動の振り返りと評価
	大阪市立社会福祉センター		
3	9月例会	9/17	福祉サービス第三者評価事業
			第三者評価研修: 児童福祉分野 保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領と第三者評価基準
	大阪市立社会福祉センター		
4	10月部会	10/15	未定
	第三者評価調査者		
	大阪市立社会福祉センター		
6	11月部会	11/19	未定
	大阪市立社会福祉センター		
7	12月部会	12/17	未定
	大阪市立社会福祉センター		
8	1月部会	1/21	未定
	大阪市立社会福祉センター		
9	2月部会	2/18	未定
	未定		
10	3月部会	3/18	未定
	未定		
11	4月部会	4/15	未定
	未定		
12	5月部会	5/20	未定
	未定		
13	6月部会	6/17	R4年度をふり返る
	未定		

こむねっと部会			令和四年度収支計画（R4/7/1～R5/6/30）			
事業・部会 No.	事業名		収益	費用		差益
A1	第三者評価 審議会・連絡会・第三連		0		0	0
	福祉サービ ス第三者評 価事業実務	聖徳福祉会（2施設）	715,000	活動費配分（90％）	643,500	71,500
		同朋学園	330,000	活動費配分（90％）	297,000	33,000
		阪南福祉事業会（3施設）	1,089,000	活動費配分（90％）	980,100	108,900
		神戸少年の町（2施設）	661,360	活動費配分（90％）	595,224	66,136
		特養かがやき	500,000	活動費配分（90％）	450,000	50,000
		きりん保育園	286,000	活動費配分（90％）	257,400	28,600
		ゆずり葉こども園	527,000	活動費配分（90％）	474,300	52,700
		その他（今後追加受注分）	2,200,000	活動費配分（90％）	1,980,000	220,000
		以上計	6,308,360		5,677,524	630,836
		研修費				80,000
A2	第三者評価以外の活動		0	活動費・諸経費	50,000	△ 50,000
共通	情報発信・資料印刷経費		0		80,000	△ 80,000
共通	会議費		0		40,000	△ 40,000
合計			6,308,360		5,927,524	380,836

6.0%

R4年度の第三者評価の契約目標を前年度の9割程度に抑えています。見積もり基準を若干あげていますので業務量としては8割程度に当たります。

R4年7月現在、受審契約状況は、すでに計画目標の約6割に達しています。
事業推進の課程で、業務の合理化を進めて生きたいと考えています。

議長は、続けて令和4年度活動予算計画の説明を事務局長に求めた。

5号議案 令和四年度活動予算計画

令和4年7月1日から令和5年6月30日まで
活動計算書

単位：円

科目	金額			前年決算額
I 経常収支				
1. 受取会費				
正会員受取会費	155,000			155,000
通信会員受取会費	2,500			2,500
学生会員受取会費	1,000			1,000
例会参加受取会費	2,500			500
受取会費計		161,000		159,000
2. 事業収益				
ふくてっくのつどい	90,000			20,000
東大阪部会	750,000			1,045,690
こむねっと部会	6,308,300			6,838,820
事業収益計		7,148,300		7,904,510
3. その他収益				
受取利息	70			73
雑収益 (事業継続給付・寄付金)				1,100,000
その他収益計		70		60,312
経常収益計			7,309,370	9,223,895
II 経常費用				
1. 事業費				
(人件費)				
給料、手当 (事業)	80,000			18,000
人件費計		80,000		18,000
(その他経費)				
材料費	10,000			2,400
業務委託費	0			0
諸謝金	5,300,000			6,044,650
印刷製本費 (事業)	500,000			572,000
会議費 (事業)	60,000			56,440
旅費交通費 (事業)	450,000			639,881
車両費	4,000			3,380
通信運搬費 (事業)	5,000			4,576
消耗品費 (事業)	20,000			20,800
租税公課 (事業)	1,000			600
研修費	120,000			211,000
支払手数料 (事業)	20,000			15,752
雑費	250,000			283,875
その他経費計		6,740,000		7,855,354
事業費計			6,820,000	7,873,354

2. 管理費				
(人件費)				
給与 手当	170,000			170,000
通勤費	35,000			34,980
人件費計		205,000		204,980
(その他経費)				
諸謝金	80,000			32,274
印刷製本費	1,000			200
会議費	80,000			118,720
旅費交通費	30,000			30,000
通信運搬費	65,000			61,433
消耗品費	5,000			217
地代家賃	419,820			419,892
諸会費	33,000			33,000
新聞図書費	0			0
保険料	0			0
租税公課	70,000			70,009
支払手数料	32,000			51,299
雑費	46,000			46,406
その他経費計		861,820		863,450
管理費計			1,066,820	1,068,430
経常費用計			7,886,820	8,941,784
当期経常増減額			△ 577,450	282,111
Ⅲ 経常外収益				
経常外収益計			0	0
Ⅳ 経常外費用				
経常外費用計			0	0
税引前当期正味財産増減額			△ 577,450	282,111
当期正味財産増減額			△ 577,450	282,111
前期繰越正味財産額			7,845,048	7,562,937
次期繰越正味財産額			7,267,598	7,845,048

3部会の事業計画および収支予算書を統合し、管理部門経費については、過年度の傾向を踏襲してまとめています。

前期は、寄付金や事業復活支援金を得て黒字決算となりましたが、今期は大きなマイナスが予想されます。

議長は、昨年度までのような受取助成金等を期待できたなか、当法人の事業活動の現状では赤字の活動予算計画となったことについて理解を求めたうえで、幸いこれまでの活動実績から潤沢な正味財産を保有していることもあるので、拙速に会費の増額や、固定費の切り下げに着手するのではなく、少なくとも3年のスパンをかけて、次世代の会員増強や新たな活動の途を拓ける想いを全員で共有したいと述べた。

最後に、以上3～5号議案について、一同から意見を求めたところ、異議なくこれらを承認した。

議長は、ほかに発議がないことを確認して、14時55分に閉会を宣言した。

議長

小川忠雄

議事録署名人

後藤秀樹

清水麗子